

# おおの議会だより

No. 67  
61.10.20



▲大野丸模型



▲山ヶ鼻古墳(供献土器)



▲落合遺跡出土品(とぎ石他)

## 文化の香りがいっぱい

|| 歴史民俗資料館 ||



▲右近次郎遺跡出土石器



▲白山々頂から出土した経筒(左)と朱書法華経巻残塊

芸術、スポーツ、食欲、そして、文化の秋です。  
この8月オープンした歴史民俗資料館には、原始時

代から近代までの貴重な資料が展示されています。  
あなたも足を運び、文化に触れてみませんか。

# 第224 回定例会

## 12議案を可決・認定

### 意見書2件も可決

第224回定例会市議会は9月16日招集され、会期を22日までの7日間と定め、理事者から提出された議案12件について審議しました。

その結果「昭和61年度大野市一般会計補正予算案」「大野勤労者体育施設の設置及び管理に関する条例案」など全議案を可決・認定しました。最終日には議員提案による「人事院勧告の完全実施を求める意見書」「少額貯蓄非課税制度存続に関する意見書」を可決。市民の皆さんから出された請願・陳情は別掲のとおり決めました。

### 審議日程

- 16日 本会議（会期の決定、議案上程、提案理由の説明）
- 18日 本会議（一般質問、請願・陳情上程、各案件委員会付託）
- 19日 委員会（産業経済・建設・教育民生・総務）
- 22日 本会議（各委員長報告質疑・討論・採決）

議案番号		議案等の審議結果	
議案番号	件名	結果	
第三十八号	昭和六十一年度大野市一般会計補正予算(第三号)案	原案可決	
第三十九号	昭和六十一年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)案	〃	
第四十号	昭和六十一年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算(第二号)案	〃	
第四十一号	大野勤労者体育施設の設置及び管理に関する条例案	〃	
第四十二号	旧大野町有給吏員退職料、退職給与金、死亡給与金、遺族扶助手給条例の定めるところによる受給者に対する退隠料等支給条例の一部を改正する条例案	〃	
第四十三号	議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正する条例案	〃	
第四十四号	大野市重症心身障害児(者)等福祉手当支給条例の一部を改正する条例案	〃	
第四十五号	大野市乳児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案	〃	
第四十六号	大野市老人福祉センター設置条例の一部を改正する条例案	〃	
第四十七号	大野市営住宅管理条例の一部を改正する条例案	〃	
第四十八号	大字及び字区域の変更について	〃	
第四十九号	昭和六十一年度大野市水道事業会計決算認定について	〃	
市会案第五号	人事院勧告の完全実施を求める意見書	認定	
市会案第六号	少額貯蓄非課税制度存続に関する意見書	原案可決	

# 市政をきく 一般質問から

## 地域活性化について

**問** 地域活性化を図るためには、目標を短期・中期・長期に分けてどのようなものが達成できたかということを見極めることが必要と思う。

短期的に活性化できるものとしては、行政を担っている職員が頭脳サイクルをワンランク上げて、やる気を持ち、いかに大野を发展させるかという発想を持つことである。

中期的には広域圏の中での観光あるいは市独自の観光資源の開発を進めるとともに、観光客を受け入れるための駐車場やドライブイン、宿泊施設などの整備を急ぐことである。

さらに、長期的には企業の誘致であるが、市には企業立地や拡張のための適地がないので、早急に確保しなければならないと思うが、どうか。

**答** まず職員のやる気については現下の厳しい経済状況の中で、各課長はじめ全職員が前向きに取り組んでいる。



景勝地九頭竜峡の目玉「魚止め」

企業誘致については力いっぱいその実現に向けて努力しなければならない。繊維問題については極めて厳しい状況なので、利子補給等についてもこれまで通り行いながら、織機廃棄問題を含めて国会議員に陳情したい。転業についてはいろいろ相談に乗っているが、資本的な問題や土地と建物が不相当であるというような問題などから、なかなか進まないのが現状である。

## 不燃物収集委託業者の不祥事について

**問** 9月5日の新聞報道によると市の委託業者が賭博容疑者中に加わっていたとのことであるが、業務の遂行に支障があるなしかかわらず、委託業者としての倫理の問題があると思うが、市長の見解はどうか。

**答** 先の議会において“暴力追放の決議”がなされた直後でもあり極めて重く考えている。

現在、市としては関係法令等を検討し、専門家に相談しているとところである。今後議会の皆さんと十分相談しながらこの問題の解決に当たりたい。

## 基本計画における女性問題の視点の欠落について

**問** 市の基本計画を見ると青少年の教育や非行問題、ごみや水の問題、福祉や暮らしの中の問題など特に女性の参加が必要な問題の視点が欠落している。

女性の職場や家庭の食生活、あるいは育児休業制等から考えても基本計画の中にもっと多くの女性問題を取り入れ、大事な政治問題としなければならないと思うが、どうか。また、男女雇用機会均等法が制定されたが、女子職員が定年前に辞めているのはどういふことなのか。

**答** 女性勤労者としての資質向上と家庭奉仕の調和については、職場内の研修の充実を図ったり、生涯学習や婦人学級・講座等への参加を呼びかけている。“働く婦人の家”の建設については、できるだけ早い機会に実現したい。

女子職員の60歳定年前の退職については、家庭事情や本人の都合で辞めるケースが多い。定年前に退職しても年金が支給されないので、定年退職は徐々に定着するものと思う。

## 工業用地の確保について

**問** 市長は今議会の冒頭に「繊維不況や円高による経済低迷の中で地域活性化のため、企業誘致を強力に進めたい」と述べているが、これを実現するには、まず用地の確保が一番の問題だと思う。

その方法として、特定の市民に犠牲を強いることを避け、広く市民の理解と協力を得て土地提供者を募る方法があると思うが、土地取得の方針を伺いたい。

**答** 企業誘致上の一番の問題点は工業用地の確保であるが、土地を求めにくい地域であるうえに、地価が極めて高いという大きな壁がある。

しかし、土地の確保を前提として企業誘致を図っていくことが基本であるので、市民の皆さんの協力が得られるよう全力を挙げたい。

## 情報化時代への対応と市民教育について

**問** 政治の腐敗は、行政の情報が特定の人だけに知らされて、一般市民が知らないということから発生すると思われる。他の自治体では、文書の整理システムをマイク



廃止が間近い国鉄自動車大野営業所



企業の立地を待つ工場適地（中保地係）

ロフィルム化したり、O A機器を導入したりして、ドシドシ情報公開に踏み切っているが、当市では現在どの程度の取り組みをしているのか。

市民が自由に資料を見ることができ資料室を設置する必要があると思うが、どうか。

**答** 市民の権利に対応するためにも情報公開は必要であり、当市でも検討を始めなければならないと思う。しかし、現在の文書管理は公開を前提としたものでないので公開制にするにはO A機器の導入やマイクロフィルム化にしなければならないし、ファイリングシステムを確立しなければならないのでよく研究したい。

資料室の設置についてもかなりの費用と時間がかかるので、今後十分検討したい。

## 国鉄バス廃止について

**問** 当地の国鉄バス運行は昭和19年から始められたもので、これまで地域住民の足を守ると同時に、美濃白鳥と大野を結ぶ歴史の深い

路線でもあり、また、観光面にも寄与してきた路線でもある。

国鉄大野自動車営業所の廃止問題に対する取り組みの方向と計画について伺いたい。

**答** 60年11月6日に国鉄中部地方自動車局長から廃止の申し入れがあり、今年の5月16日に再び大野自動車営業所を含めてバス運行を廃止したい旨の申し入れがあった。

その後、この問題について沿線区長と懇談したが「通勤やお年寄りの通院等に欠かせない路線である」ということから、存続という意見の一致をみた。

9月4日に私を含め議会の特別委員会、沿線区長等で国鉄中部自動車局と中部運輸局に廃止反対の陳情を行った。

その後、国鉄側から強い要請があったので「来年3月まで延期するよう」申し入れをしたが、国鉄としては今後代行運転の問題や職員の配置等から、年内いっぱいが限度であるということであった。

この問題については和泉村や関係区長に協議して解決しなければならない時期にきていると判断しているので、真剣に検討したい。

## 水問題についての 基本姿勢について

**問** 水行政に対する市の機構は、上・下水道は企業部、水資源は水資源対策室、道路融雪は建設課、川水の汚染対策は生活環境室の各課がそれぞれ担当しバラバラになっているが、水行政は市のマスタープランの基本であり、市の発展の基本政策でなければならないので、確固たる対策を立てる必要があると思うが、市長の考え方を伺いたい。

**答** 水は極めて大事な財産でありまた、行政の中でも避けて通れない重要な問題である。市民もこれほど水の問題に関心を持っている時期はなかったと思うので、私も就任以来、全力を挙げて取り組んでいる。

地表水については冬期間の流雪のために、土地改良の水利組合の理解と協力を得ながら水確保に努め、さらに導水路の整備を進めているので、数年後には解決できるものと思う。

問題は冬期間の地下水不足であるが、この解決には結論的には水源のかん養を図ることだと思うので、考え方をまとめてできるだけ早い機会に議会に提案したい。

## 自衛隊誘致陳情について

**問** 市長は自衛隊の誘致が本当に地域経済活性化に役立つと思っているか。

今回、自衛隊誘致期成同盟会の陳情に際し市長の副申書を付けたが、市長選の公約の中に自衛隊誘致が入っていたのか。

**答** 既に当市議会で「誘致決議」がなされており、実現すると経済的な波及効果が大きく期待できるうえ、豪雪時等でも民心の安定確



市街地の流雪溝の水確保のため整備が進められる  
導水路（大井用水、中掘地係）

保のためにメリットがあると思う。

この問題は選挙公約の大きい事柄ではなかったが、経済発展のため誘致は好ましいという観念をもって進めてきた。

今回の期成同盟会の陳情に際しての副申書については、防衛庁当局の考え方の真意がある程度伺えるものという配慮もあった。

と聞いている。誘致陳情のあった2個所については、利便性から考えると適正な地域だと思いが買収に対する用地提供者や学校側の考え方等が判断になると思う。

また一方、現在の素晴らしい環境のもとで少しでも拡大をして残したいという意見もあるように聞いているので、今後そうした意見を十分聞いて対応したい。

## 大野高校の移転問題 について

**問** 大野高校の校舎は老朽化が進み、現代的な授業を受けるのに支障をきたしている。適地への移転が望まれ、市内の2個所から移転候補地として名乗り出ているが、最近、これに対し難色を示す意見も出ているようである。

市として新地に理想の校舎の建設を求めるのか、あるいは手狭ながら歴史ある自然に恵まれた静かな現在地を選ぶのか、市長の所信を伺いたい。

**答** 学校の敷地としては一般的に6～7万平方メートルが適当であるといわれているが、現在地は約3万平方メートルしかなく移転せざるを得ない



老朽化が進み、敷地が  
手狭になった大野高校

### 真名川ダムの河道維持 用水について

**問** 61年3月31日をもって、真名川ダムの電力用水の使用量について国と北陸電力との契約の更新が行われたと思うが、その結果について伺いたい。また、農繁期における農業用水、内水面漁業に影響の大きい河道維持用水についても伺いたい。

**答** 3月31日で期限切れになっている北電富田発電所の水利使用許可については、全国的な河道維持用水の見直しのために、更新申請が事務手続上受理されておらず、更改が未了である。現在も従前のとおり毎秒16トンの権利が継続している。

真名川土地改良連合が51年10月25日に許可を得た農業用水の水利権については、58年3月更新を申請しているがまだ更新されておらず、近く許可される見通しである。

真名川の河道維持用水については52年2月、真名川土地改良区連合・北陸電力・福井県企業庁の三者協定によって、毎秒2トンを設定したものであり、漁業や農業関係の水と切り離れた既得権のものというように理解願いたい。



昔と比べ水量が減った真名川

## 請願・陳情審議結果

番号	件名	提出者	結果
請願11号	市道橋爪1号線の改良について	橋爪区長 東 信行 外14名	継続審査
陳情11号	市道伏石柿ヶ島線の早期完成について	柿ヶ島区長 山 川 普	採 択
陳情12号	排水路の改修について	城町2区区長 松 田 元 弥	採 択
陳情13号	地場産業救済策について	福井県織物構造改善工業組合 理事長 河合 均 大野織物工業協同組合 理事長 稲山喜代二	採 択
陳情14号	利子補給について	福井県織物構造改善工業組合 理事長 河合 均 大野織物工業協同組合 理事長 稲山喜代二	継続審査
陳情15号	総合医療施設の整備促進について	大野地区区長会長 小原藤雄 外7名	採 択
陳情16号	郵便貯金やマル優など非課税貯蓄制度の改悪に反対し、少額貯蓄の現行利子非課税制度の継続を求める意見書提出について	全通福井地区協議会 議長 森永慶治	採 択
陳情17号	少額貯蓄非課税制度存続について	大野市区長連合会 会長 小原藤雄	採 択
陳情3号	中野用水路の改修及び側溝の新設について	水落町2区 区長 河原弥生	継続審査
陳情5号	五箇公民館の改築について	上打波区長 田 莉子利一 外7名	採 択
陳情8号	駅東線の延長整備について	東中野区長 今井正平 外6名	継続審査

## 永年勤続表彰

○全国市議会議長会長（15年以上在職）

高津靖生、杉本夏男、林 保信、宮本 弘議員

○自治大臣感謝状（35年以上在職）

山本 武議員